

働く人生の安心を支える 労働法と制度

ねらい：働いて生きていく上で直面するであろう不安や困りごとの助けとなる労働法や制度があることを理解させる

授業スタイル	個人ワーク+グループでの話し合い
扱うことが適切な教科等	・家庭科[青年の自立、生涯の生活設計、等] ※公民科でも扱う
どのタイミングで扱うか	教科での適切な時期に(家庭科の場合は、「経済的自立」に関する学習の後が望ましい)
配当時間数	1時限(50分を想定)
この授業で身につけて欲しい力	・統計等のデータを読み取る力 ・調査結果等から自分の未来に起こり得ることを想像する力 ・(グループワークの場合)グループで話し合っ資料から答えを見つけ出す力
この授業で理解させたいこと、気づかせたいこと、身につけて欲しい知識等	・働いて生活していく上で訪れうるライフイベントや不安、困る事 ・ライフイベントや不安、困る事に、労働法と制度が助けとなり得ること
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①導入とテーマの提示 <ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学以外で何か人生で不安はあるか ・人生上の不安などへの対応 ②既習事項の確認等 ③資料による学習と話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・ライフイベントと、働いて生活をしていく上での不安や困る事について ④ワーク <ul style="list-style-type: none"> ・資料のデータ等から、それらのライフイベントや不安、困る事の助けとなる労働法と制度があることを学ぶ ⑤振り返り
使用する教材等(読み物、ワークシート、動画、ウェブサイト等)	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を含む添付のワークシート ・厚生労働省『知って役立つ労働法』、『まんが知って役立つ労働法Q&A』 ・家庭科の教科書や資料集など ・労働基準監督官と労働基準監督署に関する動画
協働する外部人材等	労働法と制度に詳しい者(必須ではない)
協働の際のこの授業案に特徴的な留意点等	特になし
学習の評価の方法の例	ワークシートと振り返りシートによる
この授業案からの発展的な学習の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・働いている社会人へのインタビューを通じた学習 ・厚生労働省作成の冊子やそのウェブサイト上で学べる教材オンライン学習ツールによる個別学習又は集団学習

授業の流れ

※時間はあくまで目安です

時間(所要)	進行	内容	留意点・備考
0:00 (5分)	導入とテーマの提示	<ul style="list-style-type: none"> ○授業者から生徒に問いかけ <ul style="list-style-type: none"> ・「就職、進学以外で何か人生で不安はあるかな？」 →生徒の意見を聞く ・「この授業では、今後働いていく上での不安やいざれ起こることにどのようにして対応すればよいか、について学びます」 	必要があれば生徒をグループに分けておく
0:05 (5分)	既習事項の確認等	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に、職業を持つ人として生きる「青年期」「成人・壮年期」の課題を確認させる ○授業者から生徒に問いかけ(ワークシート1) <ul style="list-style-type: none"> ・職業をもつ人として生きる「青年期」「成人・壮年期」の学習を確認 ・その上で、授業者から生徒に、この授業では、今後のライフイベントや、不安、困る事にどのように対応するかについて学ぶ、ということを簡単に説明する 	ワークシートの配布 ※必要に応じて教科書や資料集も用いる
0:10 (15分)	資料による学習と話し合い(ライフイベントと働く上での不安や困る事)	<ul style="list-style-type: none"> ○まず、働く楽しみや喜びについて少し生徒に考えさせ、クラスで共有する ※あまり出てこなければ授業者が補足する ○生徒に調査結果等の資料を読ませる(ワークシート2) <ul style="list-style-type: none"> ・社会人になった際のような不安や悩みを知る ※データから働く上でのリスクをイメージする ○簡単に隣同士ペア又は4人ぐらいで話し合う 	
0:25 (15分)	ワーク	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフイベント、働いて生活していく上での不安や困る事の助けとなる労働法と制度があることを知る ※右のA、Bいずれかを実施する ◆パターンA)個人ワーク&全体共有 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの左辺にライフイベントや不安等が、右辺に関連する法律や制度が並んでいるシートで、左右の対応する事項を線で結ぶ ◆パターンB)グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの左辺にライフイベントや不安等を書き込む ・右辺に『知って役立つ労働法』から助けになりそうな法律や制度を探し、書き込む ※時間があれば、労働基準監督官と労働基準監督署についての動画を見せてもよい	A) グループに一部、『知って役立つ労働法』の関係しそうな部分のコピーを用意する B) ワークシートのみ用いる ※動画については詳しくはP18参照のこと
0:40 (10分)	まとめと振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス全体でワークの結果を共有 ○振り返りシート等を用いて生徒に行わせる 	・振り返りシートの配布 ・各自記述して提出

※ワークシートの空欄に入るのは、先頭から「ライフイベント」、「不安・困る事」、「労働法と制度」、「経済的自立」、「自己実現」

第3章：モデル授業案8

年 月 日 年 組 名前：

◎この授業の学習のテーマ

学習のねらい

- ◆社会人になった後の()や、働いて生きていく上での()について知る
- ◆ライフイベントや困る事の助けとなる()あることを知る

① 職業を持つ人として生きる「青年期」「成人・壮年期」の課題

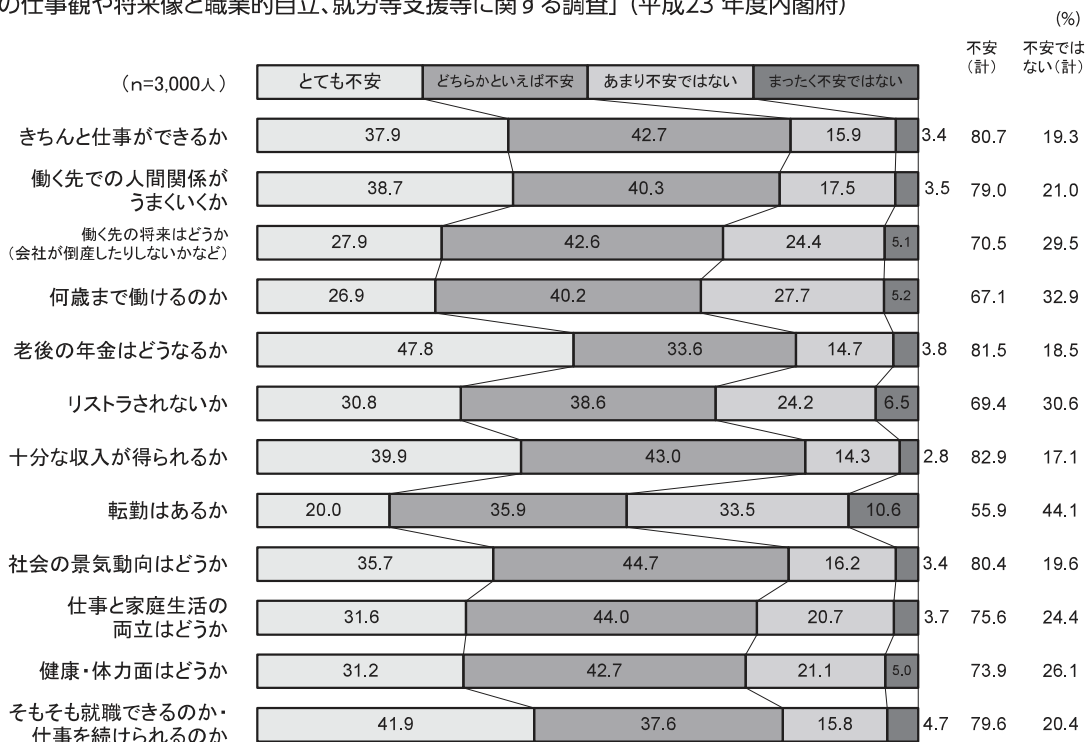
「青年期」	「成人・壮年期」
<ul style="list-style-type: none"> ・ ()、アルバイト経験、就職する ・ 職業を通して()をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業上の責任の高まり、知識・技術の向上 ・ 職場環境の向上への参画

② これから訪れるであろうライフイベントや、働いて生活していく上での不安、困る事は？

働くことに影響を及ぼす不安項目をあげてみよう。
(例)
・ 自分が会社を「クビ」になる
・ 家族が、...

「働くことに関する不安」

「若者の仕事観や将来像と職業的自立、就労等支援等に関する調査」(平成23年度内閣府)



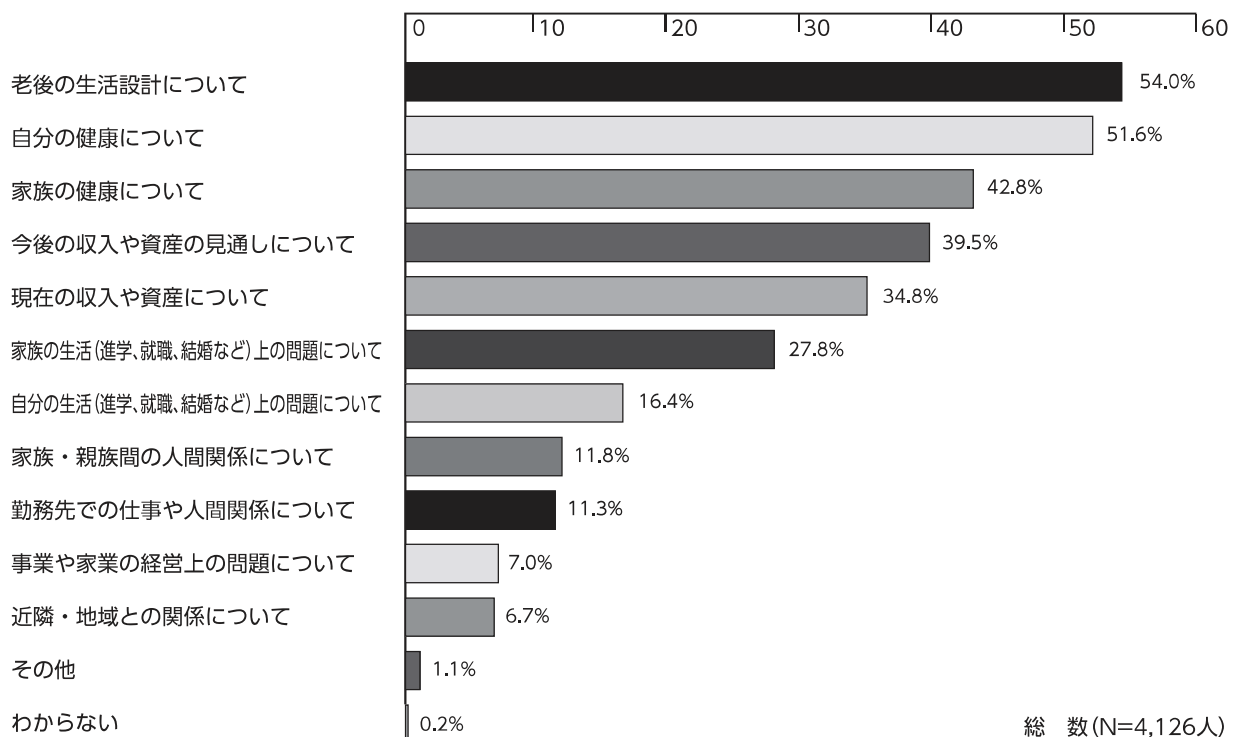
【将来への不安】 「社会保障を支える世代に関する国民意識等調査」(平成22年厚生労働省)
～年齢階級、性別に見た将来への不安について(複数回答)～

単位(%)

	公的年金が老後生活に十分であるかどうか	あなた又はあなたの親の医療や介護が必要になりその負担が増大してしまうのではないかと	給料や諸手当の減額が行われるのではないかと	企業年金や退職金が減額、廃止されるのではないかと	子育てや子どもの教育にお金がかかり、生活が苦しくなるのではないかと	高齢者向けの数行の場が十分に確保されていないのではないかと	リストラ等による解雇が行われるのではないかと	特に不安はない	その他
総数	73.5	45.0	25.3	23.8	21.5	17.0	12.6	2.8	2.7
20～29歳	57.5	34.1	38.5	23.2	33.0	7.1	20.8	5.1	3.7
30～39歳	66.7	43.0	32.7	22.2	41.6	9.4	14.2	3.1	2.4
40～49歳	74.9	47.3	27.1	25.5	25.5	12.9	14.2	1.9	2.6
50～64歳	81.6	48.5	16.2	23.8	5.7	26.2	8.2	2.3	2.5
男性	71.8	41.3	27.2	26.0	18.2	17.7	14.7	3.3	2.7
女性	75.2	48.5	23.5	21.6	24.7	16.3	10.7	2.3	2.6

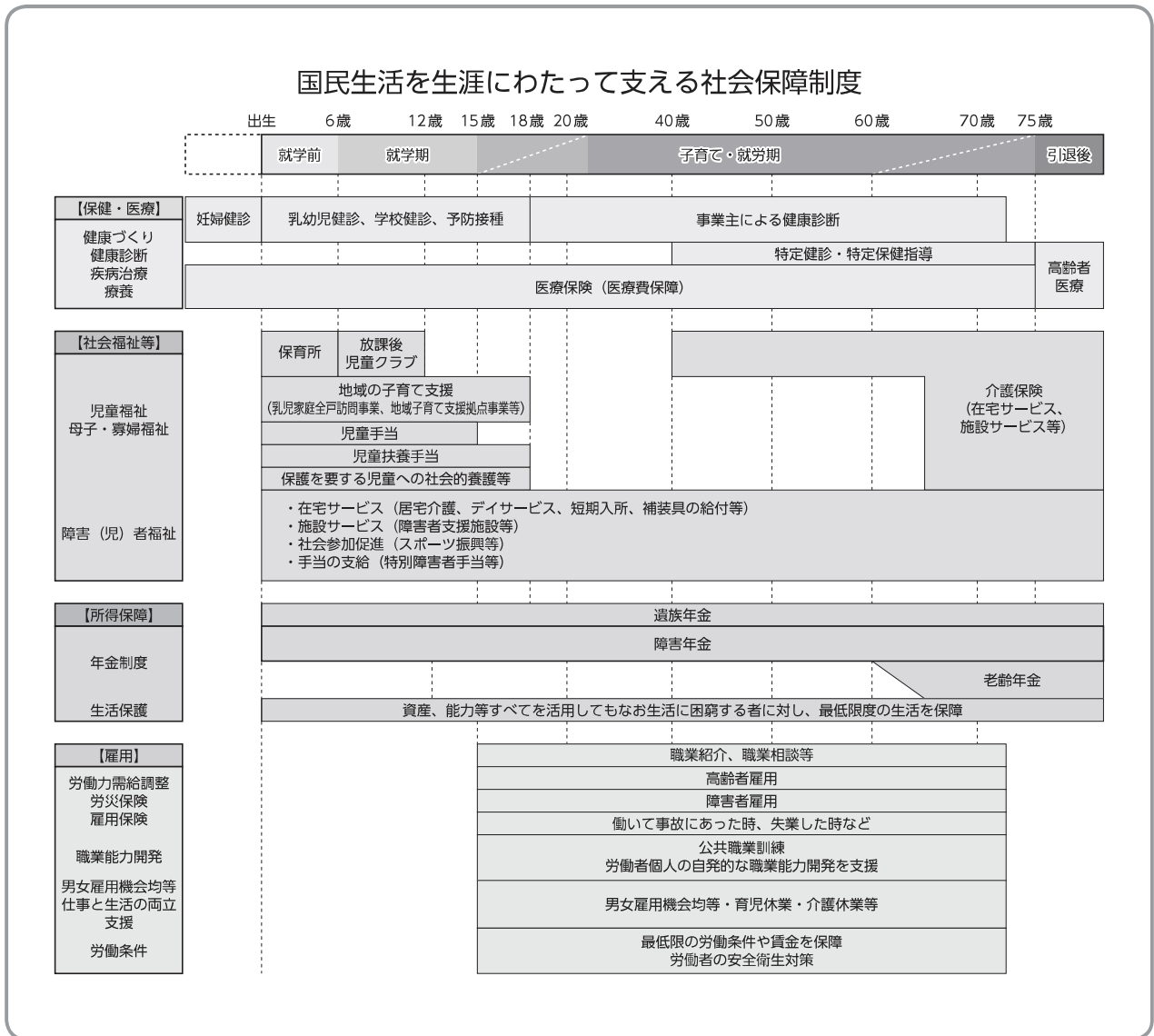
【悩みや不安の内容】 「平成28年度 国民生活に関する世論調査」(内閣府)
～日頃の生活の中で、「悩みや不安を感じている」と答えた者に、複数回答)～

単位(%)



第3章：モデル授業案 8

「人の一生から見た社会保障制度」 (『平成24年度版厚生労働白書』より)



③ 働いて生活していく上での「不安や困る事」を防いだり助けたりする労働法と制度があることを知っておこう

⇒「・」についてそれぞれ対応するものを線で結ぶ

<働く上での「不安や困る事」>

働く先の将来
(倒産したりしないか) ●

突然リストラされないか
(勤め先をいきなり「クビ」にならないか) ●

仕事と家庭生活の両立
(妊娠や出産・子育てなど) ●

仕事と親の介護の両立 ●

自分の健康
(仕事でケガや病気になったら) ●

給料のカットや未払い
(給料がまともにもらえない) ●

自分は就職できるか ●

<労働に関連する法律と制度>

● 育児休暇

● 労働基準法

● 労災保険

● 雇用保険

● ハローワーク

● 解雇予告(手当)

● 介護休暇

④ 働き生活していく上での「不安や困る事」を助ける労働法と制度を調べよう

①左の空欄に資料から読み取った「不安や困る事」を書き出す

②それらの「不安や困る事」に対応すると考えられる法律と制度をテキスト『知って役立つ労働法』や『マンガが知って役立つ労働法Q&A』で調べ、右の空欄に書き込む

◆(例) 会社が倒産して失業してしまう	⇒雇用保険と失業給付
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒
◆	⇒

振り返りシート

※①と②の質問には、最も近い答えに○を、③、④の質問には自由に書いてください。

①これから働いて生活していく上であなたにさまざまなことが起こる可能性があることを知ることができましたか？

知ることができた ある程度できた どちらともいえない
あまりできなかった できなかった

②あなたに起こる可能性のあるさまざまなことのうち、「困る事」を防いだり助けたりする法律や制度があることを理解できましたか？

理解することができた ある程度できた どちらともいえない
あまりできなかった できなかった

③今日の授業で「これは知らなかった！」「新しいことを学んだなー！」と思ったのはどういうことですか？

④今日の授業を受けて「私の今後の人生に生かせそうだな」と思ったことは何ですか？

⑤感想(思ったこと、感じたことなど)を自由に書いてください。

年 月 日 年 組 名前：

確かめよう!
労働条件。



「アルバイトの労働条件を確かめよう！」
キャラクター「たしかめたん」